

日本・アジア／米国間コンテナ貨物の荷動き動向について

(2018年2月〔往航〕速報値)

(公財) 日本海事センター 企画研究部

* 文中の％は、寄与度とシェア以外で特に記載がない場合は、対前年同期比を表します。

I. 往航（アジア 18 ヶ国・地域→米国）の荷動き

- (1) 2018年2月のアジア（18 ヶ国・地域）から米国へのコンテナ荷動き量は、前年比2ヶ月連続の増加となる19.0%増の140.3万TEUと2月の単月では過去最高を更新。1-2月の累計では前年同期比14.8%増の290.4万TEUと過去最高を更新。
*2018年の春節は2月16日。春節の休暇は旧暦大晦日にあたる2月15日から2月21日の7連休。
- (2) 国別では、日本（3.6%増）、中国（25.1%増）、韓国（0.8%増）、台湾（7.5%増）、ベトナム（15.8%増）、インド（9.5%増）などの主要国が増加。地域別では、ASEAN（12.7%増）、南アジア（8.5%増）ともに増加。
- (3) 日本は、2ヶ月連続の増加となる3.6%増の5.4万TEU。品目別の1位（2016年の年計ベースの各国・地域の品目別順位、以下同様）の「自動車部品」（5.3%減）が2ヶ月ぶりの減少となったものの、2位の「車両機器及び部品」（13.8%増）及び「タイヤ及びチューブ」（5.4%増）が2ヶ月連続の増加、4位の「建設機械」（18.8%増）が4ヶ月連続の増加。
- (4) 中国は、2ヶ月連続の増加となる25.1%増の93.7万TEU。1位の「家具及び家財道具」（33.9%増）、2位の「繊維及びその製品」（32.8%増）及び3位の「一般電気機器」（28.6%増）が2ヶ月連続の増加。香港は2ヶ月連続の増加となる8.1%増の2.4万TEU。
- (5) 韓国は、2ヶ月連続の増加となる0.8%増の5.8万TEU。2位の「一般電気機器」（5.7%増）が3ヶ月連続の増加、3位の「タイヤ及びチューブ」（8.6%増）が9ヶ月ぶりの増加、4位の「車両機器及び部品」（24.4%増）が2ヶ月連続の増加。
- (6) 台湾は、2ヶ月連続の増加となる7.5%増の4.9万TEU。1位の「建築用具及び関連品」（14.4%増）及び3位の「家具及び家財道具」（0.5%増）が2ヶ月連続の増加、2位の「自動車部品」（6.8%増）が3ヶ月連続の増加。
- (7) ASEANは、フィリピン（5.0%減）以外の国が増加となったことにより、全体では22ヶ月連続の増加となる12.7%増の20.8万TEU。ベトナムは23ヶ月連続の増加となる15.8%増の9.0万TEUと好調を維持。1位の「家具及び家財道具」（28.6%増）が23ヶ月連続の増加、2位の「繊維及びその製品」（20.1%増）が6ヶ月連続の増加、3位の「履物及び附属品」（49.6%増）が8ヶ月連続の増加。
- (8) 南アジアは、すべての国が増加となったことにより全体では11ヶ月連続の増加となる8.5%増の7.3万TEU。インドは11ヶ月連続の増加となる9.5%増の5.3万TEU。1位の「繊維及びその製品」（3.6%増）及び3位の「セメント、石、砂、粘土等」（3.2%増）が2ヶ月連続の増加、2位の「家具及び家財道具」（4.0%増）が17ヶ月連続の増加。

(9) 品目別では、「家具及び家財道具」(寄与度 4.7%増)、「繊維及びその製品」(同 2.2%増)、「一般電気機器」(同 1.6%増)、「床材・ブラインド等のプラスチック製品」(同 1.4%増)、「履物及び附属品」(同 1.1%増)などが増加に寄与。

(10) 船社別では、1位(2016年(確定値)年計ベースの船社別順位、以下同様)の CMA-CGM + APL/NOL が 17ヶ月連続の増加となる 18.6%増の 21.4万 TEU (1-2月累計のシェア: 14.95%)、2位の EVERGREEN は 2ヶ月連続の増加となる 12.2%増の 13.4万 TEU (同: 9.88%)、3位の COSCON も 2ヶ月連続の増加となる 31.4%増の 14.4万 TEU (注、同: 10.41%)。

邦船社では KLINE が 2ヶ月連続の増加となる 11.6%増の 7.7万 TEU (1-2月累計のシェア: 5.52%)、NYK も 2ヶ月連続の増加となる 21.8%増の 7.1万 TEU (同: 5.15%)、MOL は 17ヶ月連続の増加となる 17.3%増の 6.8万 TEU (同: 4.86%)。ちなみに邦船3社の2018年1-2月のシェアは 15.53%。

(11) 中国積を船社別でみると、1位(2016年(確定値)年計ベースの船社別順位、以下同様)の CMA-CGM + APL/NOL が 12ヶ月連続の増加となる 22.0%増の 14.8万 TEU (1-2月累計のシェア: 15.59%)、2位の COSCON は 2ヶ月連続の増加となる 29.1%増の 11.5万 TEU (注、同: 12.53%)、3位の EVERGREEN は 7ヶ月ぶりの増加となる 20.2%増の 9.5万 TEU (同: 10.51%)。

邦船社では KLINE が 9ヶ月ぶりの増加となる 17.8%増の 5.1万 TEU (1-2月累計のシェア: 5.46%)、NYK が 2ヶ月連続の増加となる 43.5%増の 3.6万 TEU (同: 3.93%)、MOL は 12ヶ月連続の増加となる 27.2%増の 3.1万 TEU (同: 3.33%)。ちなみに邦船3社の2018年1-2月のシェアは 12.72%。

(注) 対前年同月比における前年値については、COSCON は COSCO と CHINA SHIPPING、CMA-CGM + APL/NOL は CMA-CGM と APL/NOL の合計値。

表-1 2018年2月:積国・地域別荷動き

国・地域	往 航				
	荷動量 (TEU)	前年比 (%)	シェア (%)	1-2月の 累計(TEU)	前年同期比 (%)
18ヶ国・地域 合計	1,403,333	19.0	100.0	2,903,508	14.8
日 本	53,863	3.6	3.8	101,893	6.5
韓 国	57,741	0.8	4.1	121,690	4.6
台 湾	49,303	7.5	3.5	109,985	13.1
中国+香港 計	960,992	24.6	68.5	1,978,005	16.4
中 国	936,662	25.1	66.7	1,925,407	16.7
香 港	24,331	8.1	1.7	52,599	7.1
マカオ	23	10.1	0.0	56	14.9
ASEAN 計	207,987	12.7	14.8	436,316	13.3
シンガポール	7,683	2.8	0.5	15,806	6.4
フィリピン	9,116	▲5.0	0.6	19,780	2.9
マレーシア	22,713	10.8	1.6	48,174	16.0
インドネシア	30,338	6.1	2.2	61,372	5.1
タ イ	41,528	15.2	3.0	89,765	23.2
ベトナム	90,387	15.8	6.4	188,957	11.5
カンボジア	5,677	45.0	0.4	11,284	39.5
ミャンマー	546	23.9	0.0	1,178	50.3
南アジア 計	73,425	8.5	5.2	155,564	15.0
スリランカ	3,702	8.5	0.3	8,225	18.8
バングラデシュ	8,517	2.6	0.6	17,166	4.8
パキスタン	7,971	8.3	0.6	16,764	4.8
インド	53,235	9.5	3.8	113,409	18.2

(注) 集計対象は、日本、韓国、台湾、中国、香港、マカオの他、ASEANのうちシンガポール、フィリピン、マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム、カンボジア、ミャンマーの8ヶ国、南アジアではインド、パキスタン、スリランカ、バングラデシュの4ヶ国、合計18ヶ国・地域を対象としている。また、速報値ベースでの発表のため、後に若干の修正が加わる場合がある。

II. 品目別荷動き

(1) 往航荷動き量を品目別にみると、荷動きを牽引している住宅関連 3 品目（「家具及び家財道具」、「建築用具及びその関連品」、「床材・ブラインド等のプラスチック製品」）の合計荷動き量は、2 ヶ月連続の増加となる 29.1%増の 33.9 万 TEU。

品目別でみると、「家具及び家財道具」は 2 ヶ月連続の増加となる 29.6%増の 23.3 万 TEU、「床材・ブラインド等のプラスチック製品」は 12 ヶ月連続の増加となる 31.1%増の 6.5 万 TEU、「建築用具及びその関連品」は 2 ヶ月連続の増加となる 23.6%増の 4.1 万 TEU。

(2) 「繊維及びその製品」は 2 ヶ月連続の増加となる 21.0%増の 14.2 万 TEU。

(3) 「一般電気機器」は 4 ヶ月連続の増加となる 22.3%増の 9.7 万 TEU、「テレビ・ビデオ等の映像・音響製品」は 2 ヶ月連続の増加となる 31.9%増の 3.8 万 TEU。

(4) 「自動車部品」は 2 ヶ月連続の増加となる 7.4%増の 5.1 万 TEU、「タイヤ及びチューブ」も 2 ヶ月連続の増加となる 21.8%増の 3.9 万 TEU。

表-2 往航:2018年2月の品目別荷動き(上位10品目)

品目名	荷動量 (TEU)	前年比 (%)	寄与度 (%)	1-2月 前年同期比(%)	シェア (%)
1. 家具及び家財道具	232,788	29.6	4.7	17.8	16.6
2. 繊維及びその製品	142,064	21.0	2.2	13.0	10.1
3. 一般電気機器	97,382	22.3	1.6	17.9	6.9
4. 床材・ブラインド等のプラスチック製品	65,452	31.1	1.4	22.4	4.7
5. 自動車部品	51,416	7.4	0.3	7.9	3.7
6. 履物及び附属品	47,570	35.9	1.1	19.9	3.4
7. おもちゃ	43,798	17.7	0.6	8.9	3.1
8. 建築用具及び関連品	41,138	23.6	0.7	16.7	2.9
9. タイヤ及びチューブ	38,877	21.8	0.6	16.1	2.8
10. 車両機器及び部品	38,634	36.3	0.9	28.5	2.8

Ⅲ. 国別品目別荷動き動向

表-3 往航:2018年2月の国別品目別荷動き(上位5品目)

	順位	品目名	TEU	前年比(%)	シェア(%)
日本積	1位	自動車部品	13,725	▲5.3	25.5
	2位	車両機器及び部品	6,919	13.8	12.8
	3位	タイヤ及びチューブ	3,841	5.4	7.1
	4位	建設機械	3,271	18.8	6.1
	5位	テレビ、ビデオ等の映像・音響製品	2,933	28.7	5.4
中国積	順位	品目名	TEU	前年比(%)	シェア(%)
	1位	家具及び家財道具	167,577	33.9	17.9
	2位	繊維及びその製品	82,884	32.8	8.8
	3位	一般電気機器	74,470	28.6	8.0
	4位	おもちゃ	38,949	19.9	4.2
5位	床材・ブラインド等のプラスチック製品	54,315	37.0	5.8	
韓国積	順位	品目名	TEU	前年比(%)	シェア(%)
	1位	自動車部品	7,895	▲13.3	13.7
	2位	一般電気機器	6,346	5.7	11.0
	3位	タイヤ及びチューブ	5,188	8.6	9.0
	4位	車両機器及び部品	3,781	24.4	6.5
5位	レジン等の合成樹脂	2,292	▲12.2	4.0	
台湾積	順位	品目名	TEU	前年比(%)	シェア(%)
	1位	建築用具及び関連品	6,606	14.4	13.4
	2位	自動車部品	6,047	6.8	12.3
	3位	家具及び家財道具	3,321	0.5	6.7
	4位	床材・ブラインド等のプラスチック製品	3,195	11.2	6.5
5位	鋼材及びその製品	2,152	9.9	4.4	
ベトナム積	順位	品目名	TEU	前年比(%)	シェア(%)
	1位	家具及び家財道具	39,454	28.6	43.7
	2位	繊維及びその製品	13,997	20.1	15.5
	3位	履物及び附属品	9,042	49.6	10.0
	4位	魚及びその調整品	1,230	▲13.4	1.4
5位	コンピュータ及び半導体	1,632	10.5	1.8	
インド積	順位	品目名	TEU	前年比(%)	シェア(%)
	1位	繊維及びその製品	11,781	3.6	22.1
	2位	家具及び家財道具	2,795	4.0	5.2
	3位	セメント、石、砂、粘土等	1,921	3.2	3.6
	4位	文房具及び骨董品	2,019	▲16.9	3.8
5位	鋼材及びその製品	2,662	34.6	5.0	

注:2016年における各国の順位による

IV. 船社別荷動き動向（シェア：％）

表－4 往航：船社別荷動きシェア（％）

順位	往航船社名	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年1-2月	最近の推移など
1	CMA-CGM + APL/NOL	13.41	13.52	13.54	14.79	14.95	17ヶ月連続の増加
	(CMA-CGM)	6.41	7.73	7.45	7.90	7.94	
	(APL/NOL)	7.00	5.79	6.09	6.89	7.01	
2	EVERGREEN	10.23	10.42	10.78	10.33	9.88	2ヶ月連続の増加
	COSCON	10.95	11.21	10.13	10.16	10.41	
3	(COSCO)	6.58	6.64	8.45	10.16	10.41	2ヶ月連続の増加
	(CHINA SHIPPING)	4.38	4.57	1.68	0.00	0.00	
	MAERSK	10.03	8.79	9.35	9.34	9.64	
5	MSC	6.53	6.74	7.60	7.99	8.18	2ヶ月連続の増加
6	KLINE	5.57	5.77	5.92	5.68	5.52	2ヶ月連続の増加
7	OOCL	4.72	4.72	5.25	6.35	6.86	12ヶ月連続で大幅な増加
8	YANG MING	5.01	5.21	5.15	5.10	5.11	5ヶ月ぶりの増加
9	NYK	4.57	4.61	4.74	5.10	5.15	2ヶ月連続の増加
10	HYUNDAI	5.23	4.50	4.67	5.47	5.18	5ヶ月ぶりの増加
11	MOL	4.59	4.50	4.58	5.10	4.86	17ヶ月連続の増加
12	HAPAG-LLOYD	4.42	4.12	4.43	4.63	5.39	8ヶ月連続の増加
	OTHERS	14.73	15.88	13.87	9.97	8.86	
	TOTAL	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	5ヶ月連続の増加

表－5 往航：中国積・船社別荷動きシェア（％）

順位	往航船社名	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年1-2月	最近の推移など
1	CMA-CGM + APL/NOL	12.78	13.37	13.67	15.53	15.59	12ヶ月連続の増加
	(CMA-CGM)	7.49	8.88	8.40	8.99	8.73	
	(APL/NOL)	5.28	4.49	5.28	6.53	6.86	
2	COSCON	14.38	14.63	13.02	12.63	12.53	2ヶ月連続の増加
	(COSCO)	8.40	8.43	10.76	12.63	12.53	
	(CHINA SHIPPING)	5.98	6.20	2.26	0.00	0.00	
3	EVERGREEN	10.54	10.89	11.46	11.07	10.51	7ヶ月ぶりの増加
4	MAERSK	9.32	8.24	9.10	8.88	9.09	5ヶ月ぶりの増加
5	MSC	7.54	6.99	7.91	7.93	8.35	2ヶ月連続の増加
6	KLINE	5.65	5.96	6.09	5.66	5.46	9ヶ月ぶりの増加
7	YANG MING	5.58	5.84	5.72	5.49	5.34	5ヶ月ぶりの増加
8	OOCL	4.03	4.07	4.63	6.15	6.86	12ヶ月連続で大幅な増加
9	HAPAG-LLOYD	3.65	3.18	3.58	3.90	4.63	2ヶ月連続の増加
10	HYUNDAI	4.34	3.76	3.58	4.31	4.11	5ヶ月ぶりの増加
11	NYK	3.33	3.33	3.42	3.72	3.93	2ヶ月連続の増加
12	MOL	3.29	2.96	2.84	3.32	3.33	12ヶ月連続の増加
	OTHERS	15.58	16.75	14.96	11.42	10.28	
	TOTAL	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	5ヶ月連続の増加

* 2014-2016年のCOSCONの数値はCOSCOとCHINA SHIPPINGとの合計値（シェア）

* 2014-2018年のCMA-CGM + APL/NOLの数値は両社の合計値（シェア）

* 単位は％。順位は2016年を基準とし、2017年は暫定値。

V. コンテナ運賃の動向

表-6 往航:コンテナ運賃の推移(2016年/2017年対比)

(1)EASTBOUND		(Drewry:Container Freight Rate Insight)											2018年3月					
積地	向け地			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月				
Shanghai (China)	Los Angeles (U.S.A)	2017年	20ft	1,830	1,820	1,320	1,350	1,380	1,150	1,190	1,500	1,400	1,240	1,260	1,120			
			40ft	2,300	2,270	1,650	1,660	1,690	1,460	1,520	1,910	1,790	1,600	1,620	1,420			
		2018年	20ft	1,270	1,360													
			40ft	1,630	1,740													
		前年比	20ft	-30.6%	-25.3%													
			40ft	-29.1%	-23.3%													
Shanghai (China)	New York (U.S.A)	2017年	20ft	2,840	2,660	2,380	2,240	2,180	1,920	1,990	2,290	2,020	1,670	1,770	1,700			
			40ft	3,570	3,420	3,000	2,770	2,720	2,420	2,520	2,910	2,500	2,150	2,270	2,130			
		2018年	20ft	2,300	2,350													
			40ft	2,910	3,090													
		前年比	20ft	-19.0%	-11.7%													
			40ft	-18.5%	-9.6%													
Yokohama (Japan)	Los Angeles (U.S.A)	2017年	20ft	1,710	1,650	1,610	1,570	1,600	1,580	1,510	1,760	1,600	1,530	1,530	1,470			
			40ft	2,090	2,010	1,960	1,910	1,920	1,930	1,840	2,150	1,950	1,870	1,870	1,800			
		2018年	20ft	1,550	1,600													
			40ft	1,890	1,960													
		前年比	20ft	-9.4%	-3.0%													
			40ft	-9.6%	-2.5%													
Yokohama (Japan)	New York (U.S.A)	2017年	20ft	2,810	2,920	3,050	2,680	2,860	2,680	2,440	2,750	2,490	2,310	2,280	2,410			
			40ft	3,380	3,500	3,650	3,200	3,420	3,190	2,900	3,310	2,890	2,750	2,700	2,880			
		2018年	20ft	2,780	2,750													
			40ft	3,380	3,300													
		前年比	20ft	-1.1%	-5.8%													
			40ft	0.0%	-5.7%													

表-7 米国内地域別(西岸/東岸/ガルフ)荷動きの構成比の推移

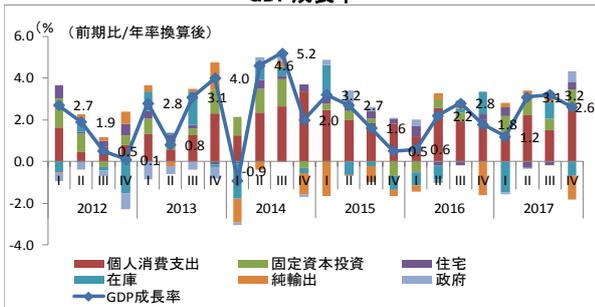
米国内地域 集計年(月)	往 航			復 航		
	西岸揚 (%)	東岸揚 (%)	ガルフ揚 (%)	西岸積 (%)	東岸積 (%)	ガルフ積 (%)
2015年2月	60.8	35.9	3.3	58.5	37.1	4.3
3月	65.6	32.0	2.5	56.9	38.6	4.5
4月	65.2	31.5	3.3	58.3	37.6	4.1
5月	65.1	31.9	3.0	60.1	35.5	4.5
6月	64.8	32.8	2.4	58.0	38.6	3.4
7月	64.0	33.3	2.7	60.9	35.3	3.8
8月	67.1	30.5	2.4	63.1	33.7	3.3
9月	64.9	32.5	2.7	57.9	38.1	4.0
10月	64.3	33.3	2.4	60.6	36.1	3.4
11月	66.8	30.8	2.3	59.0	37.5	3.5
12月	64.7	32.1	3.2	59.3	36.2	4.5
2016年1月	65.8	31.4	2.7	56.9	38.9	4.2
2月	64.1	33.0	2.9	59.8	35.9	4.3
3月	60.9	36.2	2.9	60.3	35.4	4.4
4月	65.6	31.5	2.9	60.7	35.4	4.0
5月	65.8	31.6	2.6	58.7	37.3	4.0
6月	64.9	31.9	3.2	58.9	36.6	4.5
7月	64.0	32.6	3.4	61.2	34.4	4.4
8月	63.8	32.9	3.3	60.1	35.5	4.4
9月	64.0	32.5	3.5	60.3	35.1	4.6
10月	63.6	32.6	3.8	60.9	34.5	4.5
11月	65.2	31.2	3.6	60.4	35.0	4.5
12月	64.7	31.8	3.5	58.8	35.6	5.6
2017年1月	63.5	33.0	3.5	52.3	41.0	6.6
2月	59.1	37.0	4.0	57.2	36.8	6.0
3月	64.7	31.5	3.8	59.4	34.7	5.9
4月	63.8	32.7	3.5	56.9	38.1	4.9
5月	64.8	32.0	3.2	57.6	37.8	4.6
6月	62.9	33.1	4.1	57.2	37.9	4.9
7月	63.3	32.6	4.1	56.3	38.4	5.3
8月	64.4	32.2	3.3	58.6	36.4	5.0
9月	60.4	34.8	4.9	58.3	36.6	5.1
10月	59.8	35.7	4.5	55.6	39.2	5.2
11月	65.7	30.2	4.1	57.5	37.7	4.8
12月	62.6	33.6	3.9	56.0	38.3	5.7
2018年1月	62.7	33.5	3.8			
2月	62.3	33.7	4.0			

(参考) 荷動きに関連する米国の経済指標・動向

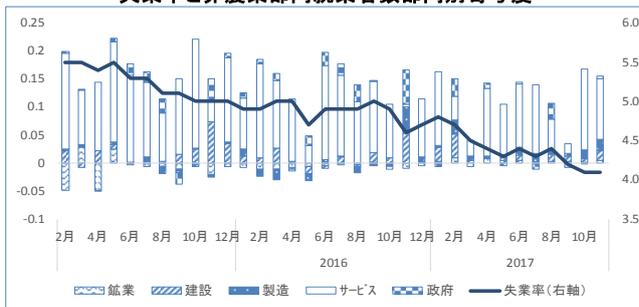
2018年3月作成 米国経済: 回復基調を維持

- ◆2017年第3四半期のGDP成長率(年率換算, 確報値)は、3.2%増に下方修正。内訳は民間消費、純輸出が下方修正された。
- ◆11月の失業率は4.1%で前月から横ばい。非農業部門全体では22.8万人雇用増。
- ◆鉱工業生産指数及び設備稼働率は2016年3月を底に回復基調に転じ、2017年も回復基調を維持。
- ◆ガソリン価格及び先行指標であるWTI価格は2014年8月以降急落していたが、2016年3月を底に緩やかな上昇基調にある。
- ◆2017年の住宅着工件数は、緩やかな成長に。住宅販売は新築、中古ともにやや軟調。
- ◆17年小売売上高は、2015年後半以降自動車販売が低調であるが全体としては回復基調を維持。
- ◆2014年10月開催の連邦公開市場委員会(FOMC)定例会で量的緩和(QE3)終了に。15年12月、16年12月、17年6月に利上げ実施。17年12月のFOMCで半年ぶりの利上げを決定。次回FOMCは1月30-31日。

GDP成長率



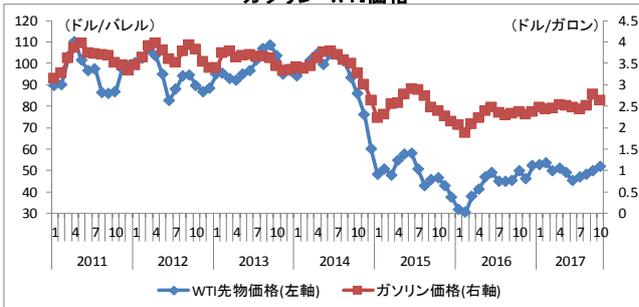
失業率と非農業部門就業者数部門別寄与度



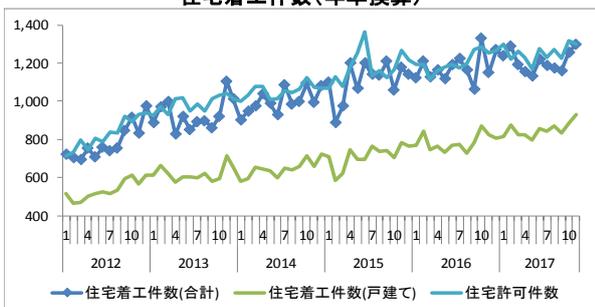
鉱工業生産指数及び設備稼働率(季節調整済)



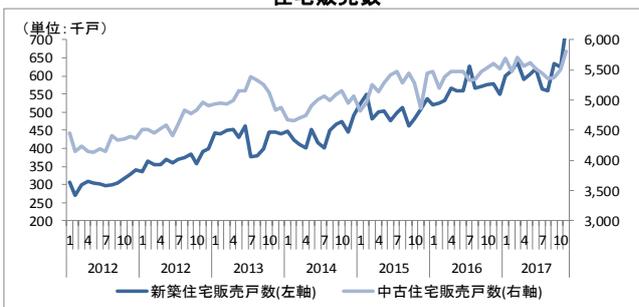
ガソリン・WTI価格



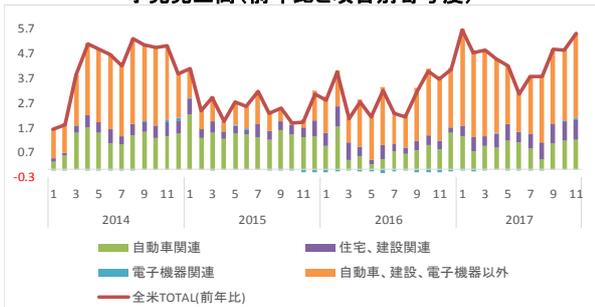
住宅着工件数(年率換算)



住宅販売数



小売売上高(前年比と項目別寄与度)



自動車販売台数

